

Do CL Column

バイクレースとCL

吉澤 隆

yoshizawa@kikaku-y.co.jp

<http://www.will-saitama.jp/company/>

好い歳をしてレース活動を再開してからそろそろ2年になります。あまりにも仕事ばかりの生活から、ちょっと離れようとバイクに乗ってみたのですが、走り出すと中断していた15年が吹っ飛んだように「現役スイッチ」が入ってしまいました。ときどき周囲からは「なんで今頃…」と言われたりもしましたが、幸いにも家族は、「お父さんらしいね」とあきらめ半分に、反対しないでくれています(?)。現役の全盛期だった頃にレースの資金を作るために始めた会社の運営に追われ、レース活動をおろそかにしてしまったとの悔いもあり、もう一度やれるところまでやってみたい！（注：仕事の邪魔にならない範囲に）と、日本のレース界を担っていく10代の若者たちに混ざって走っています。

久しぶりに走ってみると、昔との違いを事実が教えてくれます。

- ◆ 現役の時より体重が10キロ以上増えた。
- ◆ 荷物の積み下ろしをしていると、ときどき腰が痛くなる。
- ◆ バイクを整備するときに老眼鏡が必要。
- ◆ 膝が痛くなることが多く、トレーニングはジョギングからウォーキングに変更。
- ◆ ライバルの多くのお父さんお母さんは私より年下。

でも、良いこともあります

- バイクのために10キロ以上のダイエットができた。
- 積み下ろしがキツイので、荷物を細かく箱に分けていたら車の中が整理された。
- サーキットに行くとき、早起きしようとしなくても目が覚める。
- ヒザと腰の痛みのお客さんと盛り上がるようになった。
- 衰えたなりに、食べ物、運動、休養のための室内環境など、管理もゲーム感覚になった。
- ◎ そして何より！昔の仲間が頻繁に集まるようになった♪



葬儀屋さんだけにゼッケン「4」



スタート 前中央 No. 4

レース再開 3/12:開幕戦の筑波サーキット

レースの前日は練習日です。レースでは、ライダーの力だけでは速く走れません。ライダーが練習を

するだけでなく、バイクが速く走るように調整をしなくてはなりません。メカニックやサポートしてくれる仲間と力を合わせて、

- ・タイヤが路面に食いついて滑らないように、タイヤの空気圧や、サスペンションの調整。
- ・体型に合ったポジションを作るために、ハンドルやペダル、シートの位置を調整。
- ・エンジンが速く走るように、コンピューターを使って燃料の噴射を調整。
- ・いくつかのマフラーの形状を比較して、パワーの出る物を試す。
- ・また、効率よく走るギアを選ぶ。
- ・バイクが良く止るように、いくつかのブレーキパッドの材質を試す。

どれも、計算や予測で選んでも、実際走ってみると予想外の反応があり、自分に合ったものが見つかるまで何度も試します。でも、限られた時間の中では良いものが見つかるとは限りません。ライダーの体調も同様です。体調管理をしてきたのに、レース日程の間際に葬儀仕事が忙しくなり、寝不足だったり疲れが取れなかったりすることもあります。

レース当日は、そこまで用意できたものの中で戦うのです。競争相手の若者たちの中には、エンジンの調子が悪いとか、部品の準備が間に合わなかったとか、怪我をしているからとか愚痴をこぼしている人を見かけます。若い頃の自分のようです。

CLを学んだお陰で、今の私は、どんな条件であろうとも、あるがままに受け入れつつ、それをもっと上手く使う方法を探します。それでも結果はコントロールできません。

練習から予選までは好調だったのですが、決勝まえに急に気温が下がり、タイヤが冷えてしまったのを見落として、一週目の第一コーナーでドカン！あっさり敗退してしまいました。



転倒する瞬間

転倒をしたときは、同時にいろんな感情が湧いてきます。

- ・しまった！今の無かったことにして欲しい！→悔しい！
- ・バイクを壊しちゃった！→組み立ててくれた皆さんごめんなさい！皆と顔を合わせるのが怖い。
- ・怪我は大丈夫か？→痛いけど骨は無事そうだ！→良かった～！
- ・手伝ったみんなをがっかりさせちゃっただろうなあ！→恥ずかしい、申し訳ない。

・次のレースまでにバイクと体が治るかな？→心配。

等々、言い訳したくなったり、気候による路面状況のせいにしたくなったりという嫌な感情も湧いてきます。そこで、なんとなく落ち込むとか悩むとか、そんなことに時間を使うのではなく、嫌な感情を認めつつ、すぐに次のレースへの準備を始めます。

振り返ると、恥ずかしながら転倒をしてしまった直後は仲間に迷惑をかけたことより、自分のことに集中が向かいました。壊してしまったバイクを回収に来てくれた仲間の顔を見ると、申し訳ないとか恥ずかしいとか悔しいとか、いろんな感情が湧きましたが、「ごめん！」と謝りました。

幸いにも翌週の3/19日は茂木でレースです。リベンジのチャンス！お陰さまで今季初優勝！でした。



今季初優勝

しか～し！

翌月の4/9は筑波では、原因不明のマシントラブルで低迷し、さらに転倒！！

転倒の度ごとに直してくれる親友の森君には頭が上がりません。恥ずかしいとか悔しいとか残念とか申し訳ないとか、穴があったら入りたい、消えてしまいたいなどと落ち込みながらも、次の波に備え始めます。

そして最近の4/16はツインリンク茂木でレースでした。

今度こそ！と周到な準備をしてきたせいもあり、練習から好調で予選もポールポジション！

しかし、レース前は午前中からいつにも増して緊張してきました。

- ・また続けて転ぶわけにはいかないなあ。
- ・前回勝っているから、今回も期待されてるだろうなあ。
- ・周りの人たちにもマークされているだろうなあ。
- ・怪我しないといいなあという不安。
- ・スタート上手くいくかなとドキドキ。

そんな時こそCLやってて良かったなあと思うところです。きっとレイノルズ先生だったら、

「いいですよ、緊張するのは素晴らしい。緊張するのは上手くやりたいって思っている証拠ですよ。もっと心配してください。無事にレースを終えたいと思っている証拠」…とか言うかなあ先生の顔を思い浮かべながら、緊張したままにバイクの点検をしたり、軽い運動をしたり、仲間と話をしたりして気をそらします。

若いころは、一人になって逆に堅くなってたなあ、なんて思い出したりもします。きっと周りの若者たちの中には、そんな子たちが多いんじゃないかなあ、などと妄想しながら、ご飯を食べたり、横になったりします。そんなことしているうちにぐっすり昼寝をしてしまい、レース前になっていることが多々あります。

そして、迎えた決勝は、お陰さまで今季2勝目！

表彰台では、集まった仲間と喜びを分かち合いつつ、一方で、茂木では2連勝したから次も期待されるよなあ、と、さっそく次に向けて不安を感じていました。

次戦は6/4の筑波サーキット。今年は筑波と茂木で地方選手権が2回ずつあります。8月茂木では7時間耐久レースが1回と全日本選手権が1回。書き出すと心配になるくらい多いですね(汗)
お時間のある方、ぜひ応援に来てくださいね！

次回への期待と不安を受け入れつつも、

【お世話になった皆様へ】

- ・監督をし、バイクを組み立て、運び、塗装をして、5回も修理してくれてた CLUB KENJIN JAPAN 森くん。
- ・4回エンジンを組み立てて、2回修理をしてくれたペンタグラム 寺重さん戸田さん。
- ・ブレーキディスクとスペヤホイールを供給してくれているプラスミュー 本橋さん。
- ・最新のブレーキパッドを先行して供給してくれたベスラさん。
- ・高級なレーシングオイルを原価で供給してくれた MOTUL さん。
- ・タイヤを供給してくれた DUNLOP さん。
- ・15年前に契約が切れているのにメンテナンスとサポートをしてくれたアライヘルメットさん。
- ・レーシングスーツを体に合わせるために3回作り直して調整してくれたセクレテールさん。
- ・応援と手伝いに来てくれた仲間達は敬称と事実略 廣田泉、田村則夫、石毛政人、須藤淳、田中良、中川優、そして小野ちゃん。
- ・ウィルの留守を預かってくださっている鈴木さん。

皆さんありがとうございます。

これからもダイエット（食事の種類と量の制限）に励みつつ、体力維持（運動とストレッチ）に努め、家族に怒られないように、安全運転（？）で頑張ります！（神奈川県川崎市CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)